

まなびやまと

40年の伝統!

中学校対抗陸上競技選手権大会

(兼 県中学総体学校対抗陸上大和市予選会)

本大会は、昭和37年大和中・渋谷中・光丘中の3校時代に始まり、今年で連続40回開催の記念大会となりました。今年度は、9月15日・16日の2日間にわたって、大和スポーツセンター陸上競技場で行われました。

競技は、走り幅跳び・走り高跳び・砲丸投げなどのフィールド7種目、100m・200m・400mリレーなどのトラック19種目があります。

学校対抗は各種目の得点の合計で競われ、鶴間中が男女総合で3年連続の優勝を果たしました。

<男女総合> 1位 鶴間中 2位 光丘中 3位 つきみ野中
鶴間中は、10月14日に横浜市で行われた県中学校総合体育大会に出場し、男女総合4位(昨年は2位)の成績を上げました。大和市の過去の成績では、昭和47年度から光丘中の県中学総体3年連続男女総合優勝が輝いています。



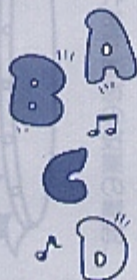
100mのスタート (大和スポーツセンター陸上競技場)

海外の友達もできるかな?

英語の先生とAET(外国人の英語講師)によるチーム・ティーチングは、中学生が楽しみにしている授業のひとつですが、障害児級の子もたちにとっても例外ではありません。9月27日に行われた光丘中学校の障害児級の授業参観では、保護者が見守る中、AETのダラス・チュービー先生の優しい口調と笑顔が子どもたちの緊張を和らげ、先生からの質問に元気よく、手を挙げて答える姿が見られました。

子どもたちは始めに大きな

声で挨拶をし、ダラス先生の質問に答える形でそれぞれが氏名や年齢などの自己紹介をしました。授業はすべて英語で進められ、子どもたちはキーワードでポイントを押さえ、ジェスチャーや絵カード等の助けを借りて会話を楽しんでいました。光丘中の障害児級では、日常は個々の課題にあわせて個別学習を中心に行っていますが、学習効果を考慮し、今回のようにみんなで学びあえる授業も進めています。



ダラス先生と楽しく英会話

閉校を前に下和田小でタイムカプセルの開封式

今年度で、下和田小学校は

渋谷小学校と統合して閉校

となります。閉校にあたって

の関連行事として、11月18日

にPTA主催の「ふれあい下

和田」が行われ、国際教室の

発表、正下和田小学校教職員

による演奏会、タイムカプセル

の開封式、自治会による模

擬店などの催しがありました。

タイムカプセルは、昭和58

年7月に、その時代を示すも

のを納め、20年後の平成15年

に開封する予定でしたが、14

年3月の閉校にともない計

画を繰り上げたものです。開

封式には、当時の児童・教職

員・PTA等の関係者が参列

して行われました。当日は開

封式の後、教室でクラスごと

に保存しておいたものを陳

列しました。中味は、手形・似

顔絵などの作品、作文や未来

の自分へのメッセージ、ビー

玉おはじきなどの遊び道具、

写真・こいのぼり・カセット

テープなど様々でした。

当時は1年生から6年生

まで31クラス(1208名)

であり、会場となった教室は

受け取りに来た卒業生で大

賑わいとなり

ました。先

生たちは、

子どもの

頃の面影を

思い出しな

がら、当時の作品等を手渡し

していました。

閉校にあたって、今後の開

連行事は次のように予定さ

れています。

◇平成14年2月6日(水)
研究発表公開授業

◇平成14年3月22日(金)
渋谷小学校との対面式

◇平成14年3月25日(月)
閉校式(午前児童、

午後閉校以来の関係者)

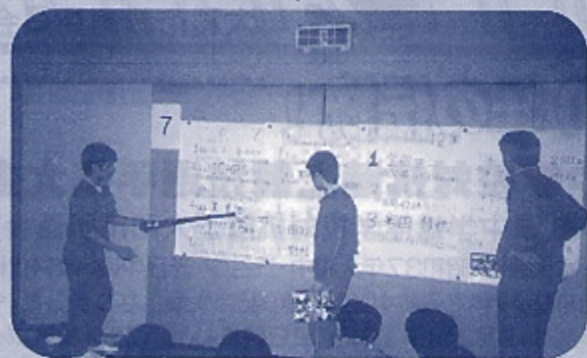
先生からタイムカプセルの作品を受け取る卒業生



新しい教育課程について研究発表

—総合的な学習の授業を公開—

「世界遺産」などの自分の課題をみつけ、調査、研究してきたものをワークショップ形式



ワークショップ形式の発表

「世界遺産」などの自分の課題をみつけ、調査、研究してきたものをワークショップ形式

11月には、地域からの推薦をいただき、大和市善行ほう賞を受けました。これを励みに、今後も、学校・地域がボランティア活動で相互に交流し合う連携をめざして頑張ります。

引地台中学校は、11月13日に「一人ひとりが生きる指導のあり方」新しい教育課程の創造をめざして」と題して研究発表を行いました。これは、平成12・13年度の大和市教育研究指定推進委託校として研究を進めてきたものです。

はじめに、3年生の「総合的な学習の時間」の授業が公開されました。学年テーマ「平和福祉文化」をもとに、子どもたち一人ひとりが「戦争の原因」「ユニセフについて」「世界遺産」などの自分の課題をみつけ、調査、研究してきたものをワークショップ形式で発表しました。

で順に発表し合いました。説明では写真を使ったり、衣装を展示したりするなどして分かり易く工夫していました。全体会では、研究紀要にまとめられた各学年の取り組みの方針と実践などが報告され、評価の方法や観点などの質問が出されていました。

参加した先生たちは、来年度から完全実施される新教育課程の編成に向けて意見を出し合い、これからの本市の教育のあり方について研究討議を行いました。

地域への恩返し

—学校・地域がボランティア交流で連携—



地域の夏祭りに参加

つきみ野中学校では、これまで道徳の授業の講師、コンピュータの技術指導、部活動のコーチなど地域の方々にいろいろとお世話になってきました。その恩返しとして、子どもたちが地域へのボランティア活動を自主的に行っています。

平成12年度に、生徒会を中心に目標、組織、会則などを作成し、特別委員会としてボランティア会を設立しました。現在は34名の会員が集まり、年間計画を基に大和まつり・夏祭り・ふれあい祭り・バザーなどの地域行事への参加、地域清掃、校内美化活動、募金活動等の活動を行っています。

鶴間中学校で、10月31日に第27回音楽祭が行われました。音楽祭は、子どもたちに合唱の楽しさを体験させるため、順位をつけるのではなく「心が温まるような歌」にふれる機会として行われています。また、学校を地域に開くという観点から保護者や林間小学校の6年生を招待しています。準備は一学期より開始し、

鶴間中学校で、10月31日に第27回音楽祭が行われました。音楽祭は、子どもたちに合唱の楽しさを体験させるため、順位をつけるのではなく「心が温まるような歌」にふれる機会として行われています。また、学校を地域に開くという観点から保護者や林間小学校の6年生を招待しています。準備は一学期より開始し、

地域に開かれた音楽祭

♪ 心あたたまる「ふれあい合唱」

大和市立鶴間中学校

10月には毎日放課後1時間の練習を行って合唱曲を完成させました。

当日は、全校級が12曲の合唱を発表し、歌い終えた子どもたちは「心を込めて歌えた」という声がかたがた、楽しさと充実感を味わえる行事となりました。

音楽祭のフィナーレに会場に集まった全員で歌う合唱は、選抜授業の音楽を選んだ子どもたちで構成された「鶴間バンド」の伴奏により、さらに心のこもった「ふれあい合唱」となりました。

保護者からは「温かい合唱に私も参加できて良かった」などの感想が寄せられていました。鶴間中学校では、特色ある学校づくりの一環として、音楽祭を今後も発展させていく予定です。



「鶴間バンド」の伴奏による全員合唱

異年齢集団の交流

「にじいろ活動」

引地台小学校では、お互いに認め合ったり、思いやりの心を育てたりすること、集団遊びを中心とした活動を通して課題に主体的に取り組み態度を育てること等をねらいに異年齢集団の交流(活動)を行っています。

全校児童が12のグループに分かれ、それぞれ1年生から6年生まで計35名前後で1グループを構成しています。

活動の内容は、「物づくり・遊びの文化の創造と伝達」で年間約20時間を使っています。

和紙の色染めや凧作り、ストロー笛づくり、グループの遊び等を通して高学年児童のリーダーとしての自覚が高まり、全校的な温かい人間関係づくりに大きな成果を上げています。

今年度は、にじいろ活動の発表の場として、11月17日ににじいろ秋祭りがありました。秋祭りは全校の子どもたちの、さらに活気に満ちた一日となりました。



にじいろ秋祭りの準備をする子どもたち



いちょうの恵みの 体・験・学・習

今年も大和小学校の銀杏(ぎんなん)が、コツコツ、パラパラ、パラパラと校庭にはずんでいます。大和小学校は樹木の多い学校ですが、いちょうは、銀杏がなる木だけでも10本あります。そこで、大和小学校では、勤労体験学習として、子どもたちが、銀杏の収穫を行ってきました。収穫作業は、学年ごとに内容を決めて分担しています。拾う、つぶす、洗う、乾燥、選別、袋詰め、販売が主な作業になりますが、他に、洗い日のカード、紙袋やポスター、レシピも作ります。販売できる製品にするまでには様々な作業があり、臭いや汚れも強く厳しい仕事になります。

作業時間は、昨年までは業間休みや昼休みを中心にしていましたが、今年は、生活科や総合的な学習として位置づけています。子どもたちは、自ら収穫した銀杏を一袋ずつ持ち帰りますが、販売利益は児童会の話し合いで用途を決めています。今後は、さらに具体的な目的を設定した活動につなげたいと考えています。



銀杏を拾う子どもたち

住みよい街をめざして



福田小学校の5年生は、福田に伝わる福田囃子に挑戦10月25日に「住みよい街とは？」という課題を持ち、「福田の街を調査しました。」

これまで子どもたちは、3年生で、地域の人々の未来への願いについて知り、4年生では、引地川の川づくりのために自分たちができることを考えたり、

福田の街の調査を続けることで、住みよい街になるために、多くの人々が支え合い、協力していること、そして自分たちでも「サイクル」や「ポイ捨てをしない」など協力できるものがあることに気づきました。「福田の街」に住みよい街にするために、これからは様々な角度から調査を進めていくことにしています。



歩道の点字ブロック(左)と資源ゴミ置き場の調査

相談教室「まほろば」が 健全育成大会に「劇」で参加

大和市の相談教室「まほろば」は、不登校の子どもたちが通う教室です。「できることから始めよう、できることをふやそう」というまほろばの方針で、11月10日に青少年センターの行事である健全育成大会に「劇」で参加しました。内容は「うそのない、いつも通りの姿を紹介しよう」とまほろばの1日の様子や行事を紹介しました。練習は順調に進みましたが、7日のリハーサルで発表会場となる保健福祉センターのホールを初めて見て、子どもたちの緊張は一段と高まったようでした。当日は、たくさんの先生や保護者の方々が見守る中、お互いに励まし合い協力して、満足いく演技をすることができました。「劇」に挑戦したことで、子どもたちは自信をつけ、協力性や自己表現力の育成に役立ちました。これからも子どもたちを大きく成長させるために、いろいろなことに挑戦していきます。



授業風景の一場面



教科書展示会のようす

大和市単独で
教科書を採択

大和市では、7月、平成14年度から使用する新しい教科書（小学校では3年間、中学校では4年間）を採択しました。今回から、地域や子どもたちの実態により合った教科書を選ぶために、大和市の子どもたちが使用する教科書は大和市が単独で採択することができるようになりました。採択にあたっては、海老名市、座間市、綾瀬市と協力して専門的な研究を行いました。その調査報告と併せて県の調査研究の結果、学校の意見、展示会等で寄せられた意見や感想などを参考に、大和市教科用図書採択検討委員会で公正に協議し、その報告書をもとに、大和市教育委員会において慎重に審議し決定されました。採択された新しい教科書は、次の3点を主に意識した編集となっています。

- ① 興味・関心を高め、学習意欲を喚起する工夫
- ② 基礎・基本の重視
- ③ 課題解決学習等による自主的・主体的学習への配慮

採択の結果、小学校は全部が現行と同じ発行者になりましたが、中学校は国語、書写、公民、理科（一分野、二分野とも）、技術が新たな発行者になりました。平成14年度使用採択教科用図書一覧表は教育委員会指導室ホームページに掲載されています。

(<http://www.city.yamato.kanagawa.jp/kyoiku/shidou/H14saitaku/H14saitaku.htm>)

給食だいすき！ 自分でつくる健康なからだ！ 第15回大和市学校給食展開催

大和市教育委員会が主催する学校給食展は、学校給食について多くの人に興味・関心をもってもらおう目的で毎年開催されています。今年度の「第15回学校給食展」は10月26日から28日まで、つきみ野サティ1階催事場で開かれました。

会場には、今年のテーマ「給食だいすき！自分でつくる健康なからだ」をもとに、給食に関係する様々な資料が展示され、また、体脂肪の測定結果から栄養指導を受けられるアドバイスコナーも設置されて、賑わいを見せていました。



学校給食展（つきみ野サティ）

渋谷小学校体育館の 建て替え



工事中の渋谷小学校体育館

大和市では現在、渋谷小学校体育館の建て替え工事を行っています。これは、来年4月からの南部小学校区の再編成にもなっており、渋谷小学校と下和田小学校が統合され、これによる児童及び学級数の増加に対応するためのものです。

新しい体育館棟では、1階に視聴覚室、音楽室、理科室、図工室、家庭科室、多目的室の計6室の特別教室と準備室4室が入り、2階部分が体育館となります。また、既存校舎の2階が渡り廊下で結ばれます。

工事の完成は、来年の3月初旬を予定しており、今後も安全に十分注意して工事作業を進めてまいります。